

# 経済学史 (2019年度前期)

## 第1回: なぜ経済学史を学ぶのか

担当者: 佐々木 啓明\*

---

\*E-mail: [sasaki@econ.kyoto-u.ac.jp](mailto:sasaki@econ.kyoto-u.ac.jp); URL: <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~sasaki/>

## ——現代経済学の状況——

### ● 多彩な現代経済学

現代経済学の主流派: 新古典派経済学

→ 古典派経済学を継承・発展. 市場の重要性を強調, 均衡概念.

その他の学派

→ マルクス経済学, ケインズ経済学, ポスト・ケインズ派経済学, ネオ・リカード派経済学, 進化経済学など.

経済学をどう学ぶべきか

→ 新古典派経済学から学ぶべき vs. その必要はない

## ● 緻密な現代経済理論

新古典派経済学の理論体系は「社会科学の女王」と呼ばれ、高度に体系化されている。

→ 数学的な手法を用いて、仮定から命題を引き出す。

→ 仮定は現実的であるべきか？

消費者行動(効用最大化), 企業行動(利潤最大化)

→ すべての財市場・要素市場における需給の一致

→ 一般均衡 → 厚生経済学の第1基本定理

完全競争という概念

→ すべての経済主体はプライス・テイカー